

● 広報

おぐに



— 1人で歩けるよ —

新型コロナウイルス感染症の影響により、休校していた町内小中学校では4月7日、一斉に令和2年度入学式が執り行われました。叶水小中学校の新1年生は小学生が1人、中学生が3人。初登校のこの日、心配するお父さんを振り切るように、しっかりとした足取りで校舎に入っていました。

2020

5

No.787

新型コロナウイルス

感染拡大防止にむけて

政府は4月16日、新型コロナ

ウイルス感染症の緊急事態宣言の対象区域を全国に拡大しました。山形県内は新型コロナウイルスの感染者が急増しており、隣接市町においても感染者が確認されていることから、予断を許さない状況にあります。

本町におきましては、引き続き山形県や関係機関との連携を密にし、正確で迅速な情報提供に努め、感染拡大防止と町民の皆様の不安解消に向けて、全力で取り組んでまいります。

町民の皆様におかれましても、国・県・町が発信する新型コロナウイルス感染症の正確な情報にご留意いただき、

冷静な行動と、手洗い、咳エ

チケット等の感染予防策の徹底と、県外への不要不急の往來の自粛をお願いします。

また、自覚症状がないまま行動して周囲に感染させてしまう例も多くあります。不要不急の外出を極力控えていただき、ご自身や大切な家族が感染しないよう心がけましょう。できる限り身近な地域での消費活動に努め、「3つの密（密閉空間、密集場所、密接場面）」を避ける取り組みをお願いします。

さらに、県外から来町される皆様におかれましては、来町後2週間はご自身の体調に十分注意していただき、不要不急の外出は控えるようお願い

いたします。

町民の皆様には、小中高校の臨時休業や公共施設等の休止、各種イベントの中止など、ご迷惑をおかけしておりますが、各方面でご協力を頂いておりますことに心から感謝申し上げます。

町といたしましても、引き続き対策本部を中心に感染防止対策の徹底と緊急経済対策を講じてまいりますので、町民の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和2年5月1日

小国町新型コロナウイルス感染症対策本部

本部長 小国町長 仁科 洋一



▲対策本部であらゆる状況に対応できるよう協議しています

今、あなたの行動があなたの

【これまでの対策本部の経過】

- 2月26日 「新型コロナウイルス感染症対策連絡調整会議」立ち上げ
- 2月28日 **「新型コロナウイルス感染症対策本部」格上げ**
- 3月3日 臨時休校措置の間の中央児童室での1日保育の実施決定
- 3月24日 町内の縫製事業所に対し、布製マスク製作依頼（2,500枚）
町内保育園児、高齢者施設等の利用者に対して布製マスク配布
【経済対策】「小国町中小企業緊急災害対策利子補給」を決定
- 3月25日 各保育園と高齢者施設の職員に対して備蓄マスク配布（3,200枚）
- 4月2日 各小中学校の児童生徒、教職員に対して備蓄マスク追加配布（6,000枚）
- 4月10日 町立病院で電話投薬を開始
- 4月14日 小中学校の休校、町立病院の内視鏡検査中止を決定
役場等受付窓口の飛沫感染防止ビニールシートを設置
- 4月20日 妊婦、透析患者に布製マスク配布（1人につき3枚）
- 4月21日 町内事業所から布製マスク7,500枚が寄贈される。
感染症予防用備蓄品の補充（マスク、消毒用アルコール等）
【経済対策】
飲食業及び宿泊業への営業自粛協力金の交付（65店舗が対象）
家計の食費負担軽減対策の実施（小中学生の家庭対象）

感染拡大防止のため気を付けていただきたいこと

- 1) 手洗い、マスクの着用を含めた「せきエチケット」の徹底をお願いします。
- 2) 3つの「密」を避けてください。
①密閉⇒適度な換気 ②密集⇒人混みは避ける ③密接⇒一定の距離を置く
- 3) 県外との往来は、控えてください。

ご存知ですか？せきエチケット

感染症をうつさないために、せき・くしゃみをする際、マスクやティッシュ、ハンカチ、袖、肘の内側などを使って、口や鼻をおさえることです。密集、密接時は特に気をつけましょう。

||||| 相談・受診・検査について |||

《感染が疑われる場合の流れ》

新型コロナ受診相談センターに電話相談

☎ 0120-88-0006へ

↓ 必要な場合は受診の案内がされます

新型コロナ感染症外来

↓ 検体を採取して、PCR検査へ

県衛生研究所 検査の実施

《不安を感じている場合》

新型コロナ相談窓口で電話相談

県庁 健康福祉企画課

薬務・感染症対策室 ☎ 023-630-2315

置賜保健所 生活衛生課 ☎ 0238-22-3002

【受付時間】 8時30分～17時15分

（土日・祝日を除く）

山和建設株式会社様よりマスクの寄贈がありました

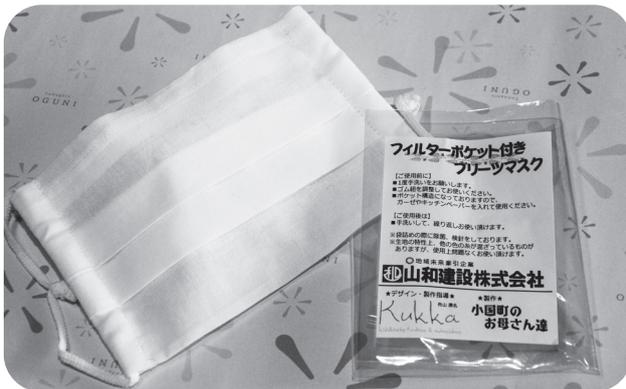
フィルターポケット付きプリーツマスク寄贈式

4月21日、町内事業所の山和建設(株)から町に布製マスク7,500枚が寄贈され、町長から感謝状が手渡されました。

山和建設(株)の小山和夫前代表取締役は「町民のかたにマスクを届けたいと思い、さまざまな業者に問合せを行ったが、どこも受注が多くすぐには発注できない状態だったため、それならば、町のお母さん達の力を借りて用意できないかと考えました。町民の感染防止に役立ててほしい。」と話されました。

このマスクはデザイン・制作指導を、子ども服の制作販売をしている舟山康名さん(北・ブランド名：Kukka(フィンランド語で花を意味する))が行い、制作については町内で裁縫が得意なかたがたに依頼して、7,500枚もの寄贈が実現したそうです。中には、お1人で100枚以上のマスクを制作されたかたもいらっしゃるようです。

このマスクは、保育園児や小中学校の児童・生徒、高齢者のかたがたに配布し、感染症予防に役立てていきます。



▲寄贈された布マスク

中にガーゼ等を入れて使用する構造になっています。



新型コロナウイルス感染症に伴う上下水道料金の支払い猶予について

新型コロナウイルス感染症の影響により、上下水道料金等のお支払いが困難となったかたに対して、お支払いの猶予などのご相談に応じます。

■対象となるかた

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少している場合など、一時的に上下水道料金のお支払いが困難になっている個人または法人

■対象となる料金

- ・上水道料金(簡易水道料金も含む)
- ・下水道料金

■支払い猶予等の内容

お客様の事情により、上下水道料金の支払い猶予や分納納付などのご相談に応じますので、電話や窓口にてお問合せください。

■問合せ先

地域整備課 水道業務担当(☎:62-2431 Fax:62-5464)へ

受付時間:月曜日~金曜日(祝日及び年末年始を除く)

8時30分~17時15分

2年目の今年もきれいに咲いています！
白い森おぐにスイセンプロジェクト

白い森おぐにスイセンプロジェクトは、2018年10月に、本町の玄関口である横根スキー場にスイセンを植え、たくさんのお花で小国町に来るかたをお迎えしようとして実行委員会が行ったもので、約200人の町民の皆さんにご協力いただき、1万個を超える球根を植えました。グレンデ上部には白い森ロゴマークをかたどって白いスイセンを植栽し、町内外の皆さんに白い森ロゴマークに親しんでもらうことも目的の一つでした。

昨年はちょうどゴールデンウィーク期間に花が咲き、石楠花まつりにいらしたお客様を楽しませてくれましたが、今年は暖冬の影響か4月中旬から咲き始めました。ロゴマークをかたどって白く咲いたスイセンは、道の駅やスキー場付近はもちろん、増岡地内から眺めてもはつきり見ることができます。

近くを通りかかった際には、ぜひ足を止めて、白く咲いたロゴマークを眺めていただけたらと思います。

ホームページの旬の一枚への投稿もお待ちしています。



▲ 昨年の様子（5月14日撮影）
白いスイセンでかたどられたロゴマーク



▲ きれいなロゴマークになるよう、4月21日に花の植え替えをおこないました

移住者をまるごと応援します！

支援事業名	内容	予算額	担当
介護職員初任者研修費補助金	介護職員初任者研修費用全額を助成します。	150千円	健康福祉課長寿介護担当 (☎61-1000) へ
お試し滞在補助金	本町への移住を目的として住居又は仕事を探す、情報収集をする等の活動を行うかたに対して滞在費を助成します。	270千円	総合政策課 協働のまちづくり担当 (☎87-0821) へ
就業目的移住者支援金	就業を目的等として移住した世帯に対し支援金を助成します。	700千円	
結婚新生活支援事業費補助金	結婚に伴う新生活を経済的に支援し住居費及び引越費用の一部を助成します。	600千円	
小国町移住世帯向け食の支援事業	県外から移住した世帯に、米、味噌、醤油を現物で助成します。	244千円	
新社会人就職祝金交付事業	町内事業所等に就職された新卒者のかたにお祝い金を交付します。	1,200千円	産業振興課商工労政担当 (☎62-2416) へ
小国の住宅総合支援事業補助金	移住者へ住宅を貸与する目的で空き家をリフォームした場合、改修費用を助成します。	600千円	地域整備課建設管理担当 (☎62-2431) へ

※詳細は担当課までお問い合わせください。
※移住者とは、転勤・進学以外の目的で町外から転入したかたとなります。

地域住民と社会をつなぐ民生委員児童委員 ～支えあう 住みよい社会 地域から～



【元地域おこし協力隊根本俊輔撮影】
東部・北部地区合同サロンの様子

民生委員制度は、2017（平成29）年に創設100周年を迎えました。その源は1917（大正6）年に岡山県で発足した「さいせい濟世顧問制度こもんせいど」を始まりとします。その後、1946（昭和21）年、名称が現在の「民生委員」に改められました。全国民生委員児童委員連合会では、「さいせい濟世顧問制度」が始まった5月12日を「民生委員・児童委員の日」と定めています。今月は、民生委員・児童委員の役割や、実際に活動されている委員の声をお届けします。

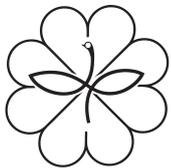
民生委員・ 児童委員とは

民生委員児童委員（以下「民生児童委員」という）は、民生委員法に「市町村の区域に配置されている民間の奉仕者」と規定され、厚生労働大臣から委嘱される非常勤特別職の地方公務員になります。そして、児童福祉法に「民生委員は、児童委員をもって充てる」とされていることから、民生委員が児童委員を兼務しています。活動についても、両法に定める職務を行うものとされ、活動を行うにあたっては、守秘義務や個人の人格

を尊重することが求められます。さらに、全ての民生児童委員は「民生委員児童委員協議会」（以下「民児協」という。）に所属し、活動を通じて把握する地域の課題を共有し、対応方法を検討しています。

ご存知ですか？このマーク

民生児童委員のきしやう徽章などに用いられており、幸せのめばえを示す四つ葉のクローバーをバックに、民生委員の「み」の文字と児童委員を示す双葉を組み合わせ、平和のシンボルの鳩をかたどって、愛情と奉仕を表しています。



これ知ってる？ 民生委員児童委員をQ&Aで解説

Q 小国町には、何人の委員がいるの？

A 本庁地区、北部地区、南部地区、東部地区の4地区に分かれていて、40人の委員（広報1月号で紹介しています。）が活動しています。さらに主任児童委員という町全体を範囲として、子どもに関する相談・支援を行う委員が3人います。

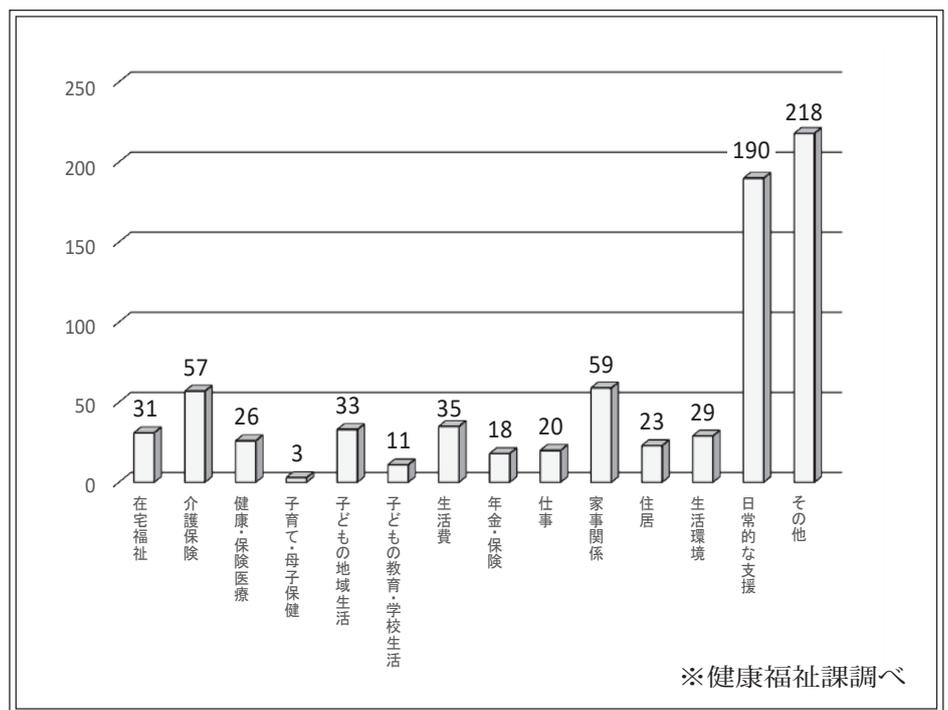
て、お住まいの皆さんが安心して暮らせるように住民の立場で相談や助言、必要な援助を行います。民生委員の活動には、①社会調査、②相談援助、③情報提供、④連絡調整、⑤業務協力の「5つの職務」があり、児童委員としては、子どもの健全育成のため、地域活動の援助なども行っています。これらを実際の活動に分類して紹介します。

【見守り活動】

一人暮らしの高齢者や障がい者世帯等で生活上の問題を抱えている世帯に定期的に訪問して、生活状況や犯罪防止のための見守り役となっています。

また、子どもたちが交通事故や犯罪被害に巻き込まれないように、地域内の登下校時

内容別相談・支援件数（令和元年度）



▲地域のかたのそれぞれの生活に密着したさまざまな内容に対応しています。

【支援活動】

地域住民が抱える課題について、相手の立場に立ち、親身になって相談にのり、自立した日常生活を送れるように支援しています。

【つなぐ活動】

社会福祉の制度や情報を地域住民に提供しています。また、適切なサービスを受けるため、関係機関に連絡し必要な対応を促します。地域サロンや高齢者体育大会などへの参加呼びかけもその一つです。

Q お金はもらえるの？
A 無報酬ですが、活動費が支給されます。
Q どんな活動をするの？
A 担当する地区の一員とし

民生児童委員の声

民生児童委員の皆さんから、実際に活動する中で大事にしていることを話していただきます。

地域が一丸となって
住民を守る必要がある

平成25年から増岡地区を担当して町民児協の副会長も務める和田哲彦さん（増岡）に話を伺いました。前任者が亡くなり、地域のかたとの付き合い方を手探りで始めたことを懐かしそうに話してくださいました。今では、安否確認をする中で、地域のかたが自ら進んで連絡をくれることもあるほど、深く信頼されるようになったそうです。また、民生委員の重要性について、「災害が多くなる中で、増岡地区にも自主防災組織が立ち上がりました。避難計画を考



▲増岡地区を担当する和田 哲彦さん

える中で、1人で避難できないかたなどの情報を把握するのも、民生委員としての重要な役割だと認識しています。これからは、地域が一丸となって、住民を守っていく必要があると思います。安全で安心して暮らせるために地域のかたの窓口になりたいです。」と意気込みを語ってくださいました。

ささいなことでもいい

から手伝うよ

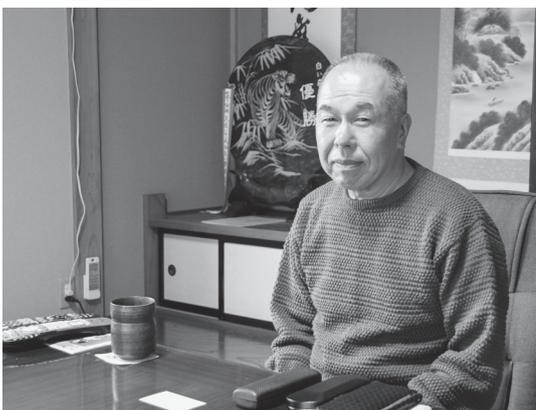
「少しでも地域に暮らすかたがたが安心して暮らしてい

民生委員児童委員信条

- 一、わたくしたちは隣人愛をもって社会福祉の増進に努めます
- 一、わたくしたちは常に地域社会の実情を把握することに努めます
- 一、わたくしたちは誠意をもってあらゆる生活上の相談に応じ自立の援助に努めます
- 一、わたくしたちはすべての人々と協力し明朗で健全な地域社会づくりに努めます
- 一、わたくしたちは常に公正を旨とし人格と識見の向上に努めます

▲民生児童委員の活動の根幹にあるもの研修会や会議では必ず唱和し、再認識している

けるように、自助、共助、公助を忘れずに、一歩ずつ着実に、信頼関係を築いていきたいと思えます。」そう話してくださいましたのは、昨年12月から岩井沢1、平林地区を担当する高橋和夫さん（小国町）です。高橋さんは、ご両親が介護が必要になり退職を考えていたときに、民生児童委員の話があったそうです。これまでの生活と違う福祉への関心と地域に何かできることはないかと考え、務めることに



▲岩井沢1・平林地区を担当する高橋 和夫さん

決めたそうです。高橋さんの声には優しさと意欲が溢れていました。

▲主任児童委員の横山順子さん



「地域のおばちゃん」として見守りたい

主任児童委員の佐藤美奈子さん（小国小坂町）と横山順子さん（小玉川）はそう話します。担当地区がないため、個人を相手に活動することは少ないようですが学校活動などに積極的に参加し、子どもたちの雰囲気把握できるよう努めているそうです。地域の皆さんに「見守っている」

▲主任児童委員の佐藤美奈子さん

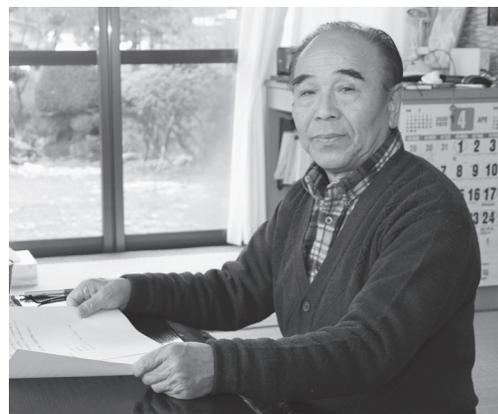


ことが伝わり、安心して生活してもらえよう活動されています。

関係機関への橋渡しを

果たしたい

伊佐領・綱木箱口を担当しており、町民児童協会長を務めている志田藤夫さん（伊佐領）は、民生児童委員として4期目になります。そんな志田さんは、「多種多様な問題と向き合う中で自分は地域のいち住民ではないから、一人では解決することができないので、専門の関係機関と地域のかたとをつなぐために信頼関係を深めるような活動を一番心掛けています」そうです。また、民生児童委員の仕事で感じていることをお聞きしたところ、「高齢になってからの付き合いが多いため、最初は話もしてくれないようなかたと、何かのきっかけによって良い関係性を築いても、亡くなってしまったり、介護施設



▲伊佐領・綱木箱口地区を担当する志田藤夫さん

や他地区のご家族のところに行ってしまうことで付き合いが途切れることがあり寂しい気持ちになります。」と話してくださいました。最後に民児協の会長として、「若い世代のかたには、自分の住む地域の民生委員が誰かを知らない人が多いと思います。生活に困っているかたはいると思うし、もっと知っていただいで、民生児童委員を活用してもらいたい。そのときのため、役立つ民生委員になれるよう信条を心に留め活動していきたいですね。」そう力強く話す姿が印象的でした。

地域と町の連携

これまで、民生委員児童委員のかたがたは、100年以上もの長きに渡り、一貫して生活困窮者の支援に取り組んできました。戦後には、痛ましい惨事を経験し、その時代、時代において、地域の福祉増進のため常に重要な役割を果たしてきました。小国町の委員の皆さんも、「地域の一員として、住民から信頼され、相手の思いを受け止めること。」を胸に活動し、その住民の思いを行動に移すお手伝いを担ってきました。町では、直面する少子高齢化、核家族化などの課題解決のため、民生児童委員のかたがたや関係機関などと一層連携しながら、「5年後、10年後、みんなが輝いている小国町」を目指して安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいきます。

地域の学び舎、冬季分校

①小玉川

かつて町内には、冬季（臨時）分校と呼ばれる冬期間限定の分校が、十数カ所（※注）に開設されていました。それは、本校（あるいはそれらの分校）まで距離があり、雪の降り積もるなか歩いて通うのが困難な児童たちのためのものでした。

そのほとんどは教室が一つしかないような小さな建物で、先生も一人。たいていは地域の青年女性が教員を務めました。みんな一緒に机を並べての授業や、晴れた日のスキー。いつの日も冬季分校には、厳しい環境をものともしない元気がいっぱいの子どもたちと、情熱あふれる先生の声が響きわたっていました。そして、集落全員でそれらの若い先生を支え、地域の学び舎（や）を守り、子どもという「希望」を共に育てていたので。ここではシリーズで、町内にあった冬季分校の記憶をたどり、そのように、温かくも大らかに人を育てていた地域の「共育」について見つめ直したいと思います。

雪を豊かにたたえた飯豊連峰を仰ぐ、長者原（小玉川）の河岸段丘上に建つ旧小玉川小中学校（平成20年3月閉校）。その始まりは明治8（1875）年、小玉川の宝泉寺に設置された玉川小学校小玉川分校までさかのぼります。その後、同一学区に

あつた泉岡や玉川中里の児童たちが小玉川まで通学するのは大変であることや、児童数が増えて宝泉寺では狭くなったことにより、明治34年、校舎（南小国尋常小学校小玉川分教場）が長者原に移転・新築されました。小玉川集落からその長者原の

学校までの通学路は片道約2km。普段通うのにはさして問題のない道ですが、猛吹雪の日などはとても危険で、児童たちが通学できないこともあり

ました。下校時に猛吹雪にあつて帰宅できなくなり、長者原の親戚や友人の家に泊めてもらうこともあつたようです（小玉川小学校開校100周年記念誌『小玉川の教育』による）。そのため、小玉川集落内に冬季分校の設置を望む声は強く、昭和15（1940）年に集落挙げての校舎建設工事の末、小玉川冬季臨時分教場（冬季分校）が誕生しました。それ以降、昭和41（1966）年度の冬まで冬季分校が毎年開設されました。

『小玉川の教育』によると、そこで先生を務めたのは18人。青山紀恵子さん（神奈川県在住）はその一人で、数少ない女性の先生でした。父親が長者原発電所関係の仕事をしていたた

外で雪だるまを作り、記念撮影（昭和31年度冬）

最後列右端が青山さん

（写真提供＝本間正美氏、次頁も）



め、青山さんは小さい頃から長者原にあつた社宅で暮らし、育ちました。そんな青山さんが冬季分校で先生をしたのは昭和31（1956）年のことです。米沢の短期大学を卒業後、小玉川小学校で代用教員をしていたことがそのきっかけとなったそうです。「長者原の社宅に親と住んでいたので、スキーを履いて毎日そ

こちら通いました。でも、吹雪で帰れないときは生徒の家に泊めてもらって。今考えればよく通ったなと思うけど、当時はそれが苦労だなんて全然思わなかったです。やっぱり若かったんでしょうね。

教室には1年生から6年生までいて、学年を分けて同時に授業をするのが大変でした。でも、音楽の授業では、みんな一緒になって歌を歌いました。オルガンがあったので、2つ、3つば



▲スキー授業（昭和34年度冬）
後ろの建物が小玉川冬季分校の校舎

スキーって感じだったな。でも、当時はそれで学力がどうたらなんてことは誰も思わなかったね、親も我々も。」そう話すのは、小学1年生から4年生まで冬季分校に通った、小玉川の本間正美さん（昭和26年生まれ）です。本間さんが小学生のときは5年生以上の高学年になると、冬季も中学生と一緒に長者原の本校へ通学するようになったそうです。

かり弾ける唱歌を伴奏で弾いて。それはよく覚えています。」と青山さんは冬季分校の思い出を話してくれました。

体育の授業では、晴れていれば外に出てスキーや雪だるまづくりをしたとも青山さんは言います。

「授業の記憶は全然ないんだ、もちろんしてたけど。天気良いと、子どもらがすぐ『先生、スキーすっべ』なんて言い出して。晴れていると毎日、スキー、

「クリスマスお泊まり会というのがあるって、夜みんなで学校に泊まったんだけど、夜のおしやべりが楽しくてよ。とても眠れるもんでなかったな。そういう楽しかった思い出はいろいろありますよ。」と本間さんは言います。

そのような冬季分校は子どもたちだけでなく地域の大人たちにとっても楽しみの場でした。

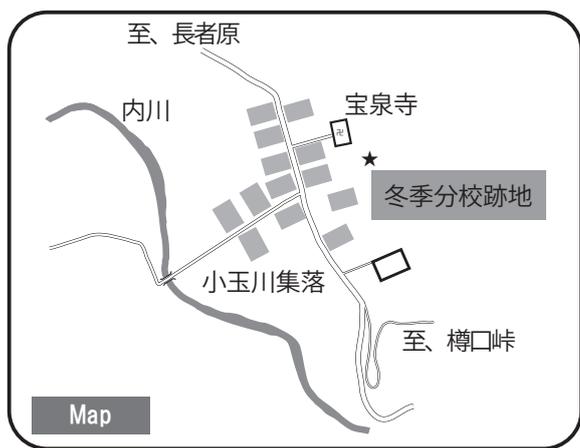
「分校に幻灯機があつてフィルムを映してたんだ。夜になると、大人たち集落の人もみな学校に集まって。当時は佐藤祐一先生（昭和34年度〜39年度）だったんだけど、とくにその先生の活弁が上手くて、みんな引き込まれるんだ。最高だった。」

それとか、毎年3月に本校で学芸会してたんだけど、それも地域の人たち、みな見に来てくれた。こっち（冬季分校）の子と本校の子とそれぞれ出し物やりあって。もう競争よ、どっちが面白いかってさ。覚えあるのは『アリババと40人の盗賊』とか劇だな。大人たちが励ましてくれたり、大いに喜んでくれ

たりするからさ、一生懸命練習したな。」と本間さんは教えてくれました。

雪で人の往来が途絶えがちな小玉川の冬季分校。そこは教科書に書かれた「知識」を先生が教えるだけではなく、地域の大人たちも一緒になって共に笑い、喜び、そして「地域の楽しみ」を子どもたちへ伝える、温かな学校でもあったのです。

※注 『道―小国小の歩み―』（小国小学校創立120年記念誌）によると、最も多いときで町内16カ所に冬季分校が設けられた。





町内小中学校入学式

期待と不安が入り混じる中、堂々と

感染症対策のため、例年とは違う異様な雰囲気の中、4月7日に町内小中学校の入学式が行われました。小国中学校では、中学校アリーナで入学式が行われ、新入生は、これからの希望や不安に胸を膨らませていました。新入生代表の酒井直くんは、「自立できるように、心と頭を柔軟に働かせ、仲間と切磋琢磨する気持ちを忘れず充実した毎日を過ごしたい」とこれからの抱負を力強く話しました。



入学式で久しぶりの友達との再会

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、休校が続く中、在校生にとって久しぶりの登校となったこの日、友達との再会にみんな笑顔を輝かせていました。



◀ 叶水小中学校の様子



◀ 小国小学校の様子

令和2年度小国町交通安全祈願祭

町内の1年間の交通安全を願って

小国町交通安全推進協議会が主催する交通安全祈願祭が、4月6日、大宮子易両神社で行われ、小国地区交通安全協会や小国町交通安全母の会の会員など7団体が参加しました。

交通安全祈願祭の後、小国警察署のパトカー4台による交通安全啓発パトロールの出発式も行われ、参加者に見送られたパトカーが町内を巡回して交通安全を呼びかけました。



小国町鳥獣被害対策実施隊委嘱書交付式・鳥獣会議

町内の有害鳥獣捕獲に期待

小国町鳥獣被害対策実施隊委嘱書交付式が、4月3日、おぐに開発総合センターで開催され、実施隊105人の代表11人が出席しました。

町長から、「隊員としての自覚と誇りを持って業務にあたってください」とあいさつがあった後、隊員のかたがたは鳥獣会議を行い、翌日より始まる春グマの捕獲を始め、有害駆除に対する注意事項を確認しました。

高野順子さん（兵庫館）小国警察署から感謝状

道迷いの高齢者を親切な声掛けにより保護

介護老人保健施設温身の郷に勤める介護員の高野順子さん（兵庫館）に、3月27日に小国高校周辺で道に迷っている高齢者を保護したとして、小国警察署から感謝状が贈られました。高野さんは、「長年、お年寄りと接する仕事をしてきたため、声を掛けたときに様子がおかしいことに気づくことができました。自宅もわからないようだったので、警察署まで送ることにしました。」と状況を説明されました。また「高齢化が進む中、今回のようなことは、地域で支える問題だと思うし、感謝状をもらうようなことではなく当たり前のことをしてだけです。」と話してくださいました。



自宅がわからないかたも、安全に帰宅できるように

町では、帰宅困難者を安全に保護するため、小国町認知症高齢者等帰宅支援事業を展開しています。保護されたかたはこの事業に登録していました。警察署に送り届けられた時点で、家族から捜索願いは出ていませんでしたが、保護した場所、年齢等から帰宅支援事業の登録名簿と照合し、該当者がいたため連絡したところ、家族で捜索中だったそうです。

「帰宅支援事業に登録していたことにより早期発見につながった。」と警察署長は話します。

「熊狩り」

地域おこし協力隊

よしだ
吉田

ゆうと
悠斗

協力隊通信

series 49

狩猟免許を取得してから初めて鳥獣被害対策実施隊員に委嘱され、4月に熊狩りへ行ってきました。今年は例年になく雪不足でしたが、山の上は思った以上に雪が残っていました。1日ばかりで捜索しましたが、結果、熊に出会わず初日は終わりました。まだ寒く、冬眠している巣穴から出てこないのだと先輩方は言います。雪上の熊の足跡も、1頭しか見られませんでした。この日は私が住んでいる樽口集落の裏山を探索しましたが、熊がすぐ近くで生息していることを改めて実感しました。私は人間も自然の一部という立場です。まもなく小国町に移住して2年が経ちますが、未だに熊も蛇も蜂も怖いです。ただ、自然を一方的に排除していくのではなく、いかに受け入れ共存していくのか、そこに人間が生きていく上での回復力や強靭さに繋がるものがあるのだと自分に言い聞かせています。



▲「背景に飯豊連峰」

風しん抗体検査および 予防接種費用の助成

■助成対象

【抗体検査】

小国町に住所を有し、次の①～③に該当するかた。ただし、過去に抗体検査を受けたことがあるかた、風しんに罹患したことがあるかた、および予防接種を2回実施したかたは対象になりません。

- ①妊娠を希望している25～50歳の女性（妊娠中、妊娠している可能性のあるかたは除く）
- ②妊娠を希望している25～50歳の女性（ただし、抗体価が16を超えるかたを除く）の夫および同居家族
- ③抗体価が16以下または妊婦健診結果判明前の妊婦の夫および同居家族

【予防接種】

抗体検査の結果、抗体価が十分でないと確認されたかた（妊婦健診結果判明者を含む）※助成を受け、抗体検査等を実施する場合は、あらかじめ健康福祉課に連絡し、風しん抗体検査受診票の交付を受けてください。

■費用 無料で受けられます。

■受付期間 令和3年3月12日(金)まで

■問合先 健康福祉課 (☎61-1000) へ

情報公開制度と個人情報保護制度の 令和元年度の運用状況

■情報公開制度

情報公開請求17件

【決定件数20件（うち前年度繰越3件）、取り下げ0件、翌年度繰越0件】

○内訳

◇全部公開3件◇部分公開16件◇非公開1件(不存在)◇異議申し立て0件

■個人情報保護制度

個人情報取扱事務届出件数497件

○内訳

◇町413件◇教育委員会41件◇選挙管理委員会21件◇監査委員1件◇農業委員会16件◇固定資産評価審査委員会1件◇議会4件

(総務課行政管理担当)



町立病院内科に

山川洋平 医師

出身：山形市

専門：消化器内科

4月1日から町立病院の内科に山川洋平先生が着任し、診療にあたられています。

山川先生はこれまで公立置賜総合病院で初期研修を行い、県立中央病院で消化器内科医として経験を積んでこられました。「高齢化率も高い町で、老若男女から信頼される医師を目指して頑張りたいです。」小国の印象について「今年は少雪で私のイメージと違いましたが、豊かな自然を楽しみたいです。」と話してくださいました。

高齢者肺炎球菌ワクチン 予防接種について

■助成対象

令和2年度の対象者は、次の各年齢です。ただし、すでに肺炎球菌ワクチンの予防接種を受けたことがあるかたは対象外です。

65歳	昭和30年4月2日～昭和31年4月1日生まれ
70歳	昭和25年4月2日～昭和26年4月1日生まれ
75歳	昭和20年4月2日～昭和21年4月1日生まれ
80歳	昭和15年4月2日～昭和16年4月1日生まれ
85歳	昭和10年4月2日～昭和11年4月1日生まれ
90歳	昭和5年4月2日～昭和6年4月1日生まれ
95歳	大正14年4月2日～大正15年4月1日生まれ
100歳	大正9年4月2日～大正10年4月1日生まれ

また、60～64歳のかたで、心臓、腎臓もしくは呼吸器の機能、またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障害を有するかた（身体障がい者手帳1級相当）も対象になります。

■接種有効期間 令和3年3月31日(水)

■接種料金 予約の際、医療機関にご確認ください。町負担額3,000円を差し引いた額が自己負担になります。

■問合先 健康福祉課 (☎61-1000) へ

令和3年度採用

小国町職員を募集します

■職種

上級行政（大卒程度）

■募集人員 若干名

■受験資格

平成2年4月2日から平成11年4月1日までに生まれたかたで、大学を卒業・卒業見込みのかた

■試験内容

▽第1次試験 教養試験、職場適応性検査、作文試験

▽第2次試験

第1次試験合格者を対象に面接試験を行います。

■試験日および会場

▽第1次試験 6月28日(日) やまぎん県民ホール(山形市)
▽第2次試験 7月下旬～8月上旬 小国町役場

■募集期間

5月11日(月)から6月8日(月)まで(必着)

■受付時間および場所

午前8時30分～午後5時15分
総務課行政管理担当に提出

してください。(土日および祝日は、日直の職員へ提出ください。)

■募集要項・申込書

○配布場所

小国町役場、健康管理センター、おぐに開発総合センターまたは町ホームページからダウンロードすることができます。

※資料の郵送を希望するかたは問合先まで連絡ください。

■問合先

総務課行政管理担当 (☎62・2112)へ

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況等によつては、日程等を変更する場合がありますので、予めご了承ください。

なお、その場合は町ホームページに変更内容を記載するとともに、すでに応募されているかたに直接ご連絡します。

新社会人就職祝金交付事業

町では、移住定住促進に向けたさまざまな施策のひとつとして、町内事業所等で働き始めた新卒者を対象に就職祝金を交付します。該当するかたを雇用した事業所等は、期限までに届出をしてください。

■対象者 町内事業所等に就職した新卒者

■届出方法

新卒者を雇用した事業所等は、届出書(町HPに掲載)に添付書類を添えて、産業振興課に届出をしてください。

■添付書類

雇用が確認できる書類(雇用保険被保険者資格取得通知書等)、新卒者であることが確認できる書類(内定通知書の写し等)

■受付期間 6月12日(金)まで

■届出・問合先

産業振興課商工労政担当 (☎62-2416)へ

身体障がい者相談員および知的障がい者相談員を委嘱

町では、障がいを持つかたの福祉の推進を図ることを目的として、身体障がい者相談員および知的障がい者相談員を設置しています。このたび、次のかたを相談員として委嘱しました。

■身体障がい者相談員

舟山 健蔵さん(越中里・再任)
斎藤 登志夫さん(岩井沢・再任)

■知的障がい者相談員

伊藤 信子さん(増岡・再任)

なお、任期は令和2年4月1日から令和4年3月31日までとなります。

入札結果情報 (令和2年3月21日～令和2年4月20日実施)

単位(円)

入札日	工事名	施行場所	工期(完了)	予定価格	落札業者	落札価格
R2.3.30	令和元年度繰越明許費林道樽口峠線災害復旧工事	樽口	R2.6.30	5,602,000	遠藤建設(株)	5,600,000
R2.3.30	令和2年度町道舗装補修業務委託	町道全路線	R3.3.31	2,614,000	小国開発(株)	2,500,000

※入札結果情報の金額は消費税及び地方消費税を含みません。

募集

町営住宅入居者募集

①町営住宅小坂町団地

3DK 2戸(1・4階)

■対象

▽世帯状況に応じた所得制限あり

②町営住宅あけぼの高齢者団地

1LDK 1戸(1階)

■対象

▽世帯状況に応じた所得制限あり

▽60歳以上のかたで自立した

生活を送ることができ、同居する

かたが配偶者または60歳以上の親族であること

①②共通

◎家賃 所得により決定

◎敷金 家賃の3カ月分

◎募集期限 6月8日(月)

◎入居時期 6月下旬以降

◎問合先 地域整備課建設管理担当(☎62・2431)へ

介護福祉士・保育士修学資金の借入希望者の募集

■貸付内容(共通)

修学資金 5万円

入学準備金 20万円以内

就職準備金 20万円以内

貸付利率 無利率

■返還免除について

卒業後、5年間継続して従事すること。(要件はご確認ください。)

募集期限 5月15日(金)

■募集人数

介護福祉士修学資金 38人

保育士修学資金 100人

■申込方法 入学された養成施設を通して申してください。詳細については、お問合せください。

■問合先 山形県社会福祉協議会地域福祉部生活支援係(☎023・622・5699)へ

農業経営実践講座の受講生募集

農業者のかたを対象に、8つの講座を開講します。

■開講講座 ①米づくり基礎

②果樹経営開始③アスパラガス④きゅうり⑤啓翁桜⑥乳牛・肉牛の飼養管理⑦農業簿記基礎⑧農産加工基礎

■受講料 無料(教材費等実費負担)

■申込期限 5月7日(木)

■開講式 5月12日(火)

■申込・問合先 西置賜農業技術普及課(☎0238・88・8212)へ

お知らせ

やまがた縁結びたい結婚相談会のご案内

結婚に関する不安や悩みをお持ちの皆さまに個別の相談会を開催します。

■日時 6月14日(日)、7月12日(日) 13時~16時45分

■場所 あこや会館(山形市)

■対象 結婚を希望するかた またはそのご家族

■費用 無料

■問合先 やまがた出会いサポートセンター(☎023・615・8755)へ

ギャンブル等依存症でお悩みのかたの借金と心の無料相談会のご案内

■日時 5月18日(月)、19日(火)、20日(水) 8時30分から16時30分

■場所 山形財務事務所(山形市)

■問合先 山形財務事務所理財課(☎023・641・5178)へ

令和2年度自動車税種別割(県税)の納税について

自動車税種別割の納期限は6月1日(日)です。お近くの金融機関、郵便局、各総合支庁税務担当課、コンビニエンスストアのほか、インターネットを利用してクレジットカードで納めることができます。皆さん忘れずに期限まで納めましょう。

■問合先 置賜総合支庁税務課(☎0238・26・6014)へ

(株)大沼の商品券をお持ちの皆さまへ

(株)大沼の商品券の還付申出手続きを行っています。詳しくは東北財務局のHPをご確認くださいか、お問合せください。

■問合先 東北財務局金融監督第三課(☎022・721・7079)、山形財務事務所理財課(☎023・641・5178)へ

16

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、掲載されている日程等が変更になる可能性があります。

開催状況については、各問合せ先に確認してください。

5月の 保健カレンダー

1. 各健診の日程等

■3・4カ月児健診

- ・期 日 5月8日(金)
- ・受付時間 13:05~13:15
- ・対 象 令和元年12月・令和2年1月生まれ

■9・10カ月児健診

- ・期 日 5月8日(金)
- ・受付時間 13:00~13:10
- ・対 象 令和元年6月、7月生まれ

■1歳児健診

- ・期 日 5月8日(金)
- ・受付時間 12:50~13:05
- ・対 象 令和元年5月生まれ

2. 場 所 健康管理センター

3. その他

母子健康手帳を持参ください。

4. 問合せ先 健康管理センター

(61-1000) へ

子育て支援センターから

■5月のなかよし広場お休みのお知らせ

- ・なかよし広場は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月8日(水)~5月8日(金)までお休みとなります。
- ・子育て相談は、電話のみ受付しております。
- ※その後の予定は、未定です。

休日当番担当歯科医のお知らせ

5月3日(日)	米沢	米沢ファミリー歯科・矯正歯科	0238-21-5533
5月4日(月)	南陽	さくら歯科クリニック	0238-27-8241
5月5日(火)	長井	斎藤歯科医院	0238-88-1827
5月6日(水)	米沢	近野歯科医院	0238-23-1187
5月10日(日)	川西	長十歯科医院	0238-42-5152
5月17日(日)	米沢	高橋歯科医院	0238-23-8888
5月24日(日)	南陽	黒江歯科医院	0238-47-2154
5月31日(日)	米沢	あさひ歯科医院	0238-24-0118

求 人 情 報

右の表は4月21日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。
求人情報の詳細については、ハローワーク長井(☎84-8609)へ。

今月の納税 2020.5

5月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

●5月26日(火) 水道料

●6月1日(月)

固定資産税、介護保険料、下水道料、簡易水道料、住宅使用料、保育料、児童福祉使用料

■問合せ先

町民税務課税政管理室
(62-2403) へ

事業所名	職 種	求人数	勤 務 時 間
荒川興業(株)	製造加工【正社員・正社員以外】	各1人	8:20~17:10
社会福祉法人小国福祉会	看護師(常勤正規職員)	1人	8:00~17:00他
	介護員	1人	6:30~15:30他
山和建設(株)	介護員【年度更新】	1人	6:30~15:30他
	2級土木施工管理技士・2級建築施工管理技士【本社】	3人	8:00~17:00
1級土木施工管理技士・1級建築施工管理技士【本社】	3人		
猪野電気工事(株)	内線工事作業員	1人	8:00~17:00
日本重化学工業(株)小国事業所	電子材料の製造等スタッフ	4人	8:15~17:15
(株)高橋工務店	土木技術者(見習い可)	2人	8:00~17:00
	建築技術者(見習い可)	2人	
	現場作業員	2人	
(株)高橋商会	ガソリンスタンドスタッフ	1人	8:00~17:00他
(株)山芳工務店	電気設備工	1人	9:00~18:00
小国グリーンエナジー合同会社	ペレットストーブ・薪ストーブ設置工事助手・煙突清掃など	1人	8:00~17:00
アクサ生命保険(株)長井オフィス	商工会議所・商工会共済・福祉制度推進スタッフ	2人	9:15~16:15他
大河内産業(有)	一般事務員	1人	8:00~17:00
	ダンプ・重機運転士	1人	
	一般作業員	2人	
(株)小国いきいき街づくり公社	販売員	1人	9:00~18:00

※先月号掲載分以降に新規で登録された求人掲載しています。
※町ホームページに求人情報を掲載しています。

特定不妊治療費助成

■助成対象者

小国町に住所を有し、山形県特定不妊治療費助成の対象となるかた、または妻の年齢が43歳以上で夫婦合算の控除後の所得額が730万円未満のかた

■助成内容

体外受精および顕微授精の治療費に対し、上限10万円を助成

※助成内容等により上限額が変わります。詳細は健康福祉課に問合せください。今年度より事業拡充により、出産ごとに6回（40歳以上の場合3回）まで利用できます。

■申請方法

- 申請書と以下の書類を提出ください
- ①特定不妊治療費助成事業受診等証明書（県助成該当者は写し）
 - ②県特定不妊治療費助成金給付決定通知書の写し（県助成該当者のみ）
 - ③特定不妊治療に要した費用に関わる領収書の写し
 - ④ご夫婦の所得証明書（県助成該当者は不要）
 - ⑤所得額算出表（県助成該当者は不要）

■問合せ先

健康福祉課（☎61-1000）へ

出産支援事業のお知らせ

町では、子育てしやすい環境づくりを進める中で、妊娠・出産等に要する経済的負担を軽減し、安心して出産を迎えられるよう出産支援金を給付しています。

■助成対象者

母子健康手帳の交付を受けたかたで、申請時に妊娠中で小国町に住所のあるかた

※他市町村で母子健康手帳の交付を受け、小国町に転入されたかたで申請時に妊娠中のかたも対象になります。

■助成金額

妊婦1人に対し5万円
（うち3万円は白い森共通商品券）

■申請方法

母子健康手帳交付の際に申請書をお渡しします。印鑑と本人または配偶者の銀行口座番号等が分かるものをお持ちください。転入者のかたは、母子健康手帳もお持ちください。

■問合せ先

健康福祉課（☎61-1000）へ

5月の あいべイベント 中止のお知らせ



5月のあいべイベント等については、新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、中止となりました。

■問合せ先
（☎62-5808）

おぐにYui
スポーツクラブ

前期危険物取扱者試験準備講習会の中止について

4月号に掲載しました「前期危険物取扱者試験準備講習会」については、今般の新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、中止となりました。

■問合せ先 西置賜行政組合消防本部予防課
（☎0238-88-1797）へ

相 談

▽年金相談

■日 時 5月20日(水)
10:30～13:30

■場 所 役場

■対応者 米沢年金事務所職員

■申込み 事前に申込みが必要です。

■申込・問合せ先 町民税務課住民窓口担当へ

総合センター 図書室から

～新着図書～

休館日 毎週月曜日・祝日

◇凡人のための地域再生入門	木 下 齊
◇食品の保存テク	徳 江 千 代 子
◇いまだきの子のやる気に火をつけるメンタルトレーニング	飯 山 暁 朗
◇日本史に学ぶ一流の気くばり	加 来 耕 三
◇かんたん かわいい！手作りマスク	新 井 久 子

ドローンがみた、 おぐにの風景

No.12



⑫ 「横川と桜並木」

中央のクアーズテック株式会社社寮を設計したのは、あの東京タワーや小玉川の長者原発電所を設計した内藤多仲氏です。周辺には、毎年、花見客で賑わう桜並木が続き、その桜並木の脇を目の覚めるようなエメラルドグリーンの横川が流れ、春の訪れを感じさせます。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、全国を対象とした緊急事態宣言が出され、不要不急の外出を控えるよう要請されていますが、毎年私たちが癒してくれる景色がそこにはあります。今は、しばし我慢の時期。いつもと変わらない毎日を過ごせるようになるまで、皆さんで乗り切りましょう。

来年、この桜並木の下で皆さんとお会いできる日を楽しみにしています。